

御前山ビオトープ周辺の植物等

茨城県以西に分布するとされている常緑低木です。根元近くから枝分かれして、日かげでもよく育ちます。赤く色づく果実が美しいので、庭木として植えられているものが多く、山野に生育するもののほとんどが逸出したものであるとする見解もあります。果実を煎じて咳止めに、また葉は強壯薬に使われるそうです。



(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

ひと足早い春の訪れ…【奥久慈枝物部会】



3月3日の「桃の節句」を前に、奥久慈枝物部会では、「奥久慈の花桃」が出荷のピークを迎えています。

旧大場小学校にある枝物促成施設で、まだつぼみの固い状態から、20℃～25℃に保たれた温室で約7日間促成栽培（成長・収穫・出荷を早くする栽培法）された花桃は、東京を中心に仙台から大阪まで、全国15市場に、今年は約11万5千束が出荷される予定です。

古来から花桃は、厄よけや魔よけとして用いられてきたことから、コロナ禍の影響で大変な暮らしの中、花桃を飾り邪気を払って、元気になってほしいという思いを込めたメッセージカードも添えられて出荷されています。



▲出荷の様子



▲思いを込めたメッセージカード



常陸大宮市の人口

(2月1日現在・推定常住者)

総人口 38,880人 世帯数 15,981世帯
(男 19,214人 女 19,666人)

広報 常陸大宮 2月 第197号

発行日 令和3年2月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

U R L <https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

